



婦人科からの耳より情報

第二話 「月経に随伴する症状について」

月経に伴う症状として、出血、月経時の腹痛やそれに伴う精神症状があります。また、月経前にも、腹痛やイライラなどの精神症状を認め、これらを月経前症候群と言います。月経前に卵胞ホルモンと黄体ホルモンが急激に低下することが月経前症候群の原因と考えられます。

障害者の場合、訴える手段が乏しく、症状がわかりにくいので、介護をする側が、積極的に月経時の苦痛や月経前症候群を疑い、対処する必要があります。

具体例を自施設に入所中の女性で説明しますと、その女性は、月経前にいつも苦しそうな表情をし、食欲が低下し、お腹が張り、時々、吐くことがありました。月経前に苦しい顔をされたら、頓服で鎮痛薬を飲んでいただき、また、月経開始後も数日間、朝夕と定期的に鎮痛剤を飲んでもらっています。また、月経前後に、苦悶様症状だけでなく、食欲低下、便秘、腹部膨満感、泣くなどの症状を認めたため、これらを抑えるために低用量ピルを内服したところ、月経前後に穏やかに過ごしてもらっています。

障害者の場合、訴える手段が乏しく、症状がわかりにくい場合があります。月経随伴症状を見落とししてしまいます。例えば、攻撃的な行動、頭を叩くなどの自傷行為、原因不明の啼泣などです。これらのわかりにくさに対応するために、月経周期と、情緒不安定な症状をカレンダーに記載することが勧められます。ポイントは、症状があるかないかという判断よりも、1～5段階のようなスケールで記載し、普段から見られているそれらの症状が悪化するかどうかを見ていくほうがわかりやすいでしょう。

治療としては痛み、精神症状に対する治療の2つに分けられます。治療の第一選択は、痛み止めで65%に効果があります。月経の始まる数日前から、月経が終わるまで、定期的な内服が必要です。第二選択は、ピルの内服で40%に効果があると言われています。第三選択はSSRIなどの抗うつ薬となります。

治療については、訴えが分かりづらい方が多いので、月経随伴症状が疑わしい場合は、積極的に治療を行ったほうが良いでしょう。

今回は、障害者の性についてお話しします。

ベルデさかい 診療部長 橋本 洋之 医師

事業所の枠をこえた支援の輪が  
広がっています！！

重心の会 きずな

堺市・高石市・和泉市の重症心身障がい児のための児童発達支援・放課後等デイサービス事業所が集まり、「重心の会 きずな」を立ち上げました！

月1回の集まりで情報交換等をしていく中でスムーズに事業所間連携をし、利用者様が安心して利用していただけるよう目指しています。

各種研修なども実施して、職員の質の向上も図っています。

ご家族様に対しても、今後研修を実施していく予定です。

ご連絡・お問い合わせは

E-mail [sakai.jyushin@gmail.com](mailto:sakai.jyushin@gmail.com)

までお願いします。



特定非営利活動法人  
「アンリーシュ」を紹介します



「医療的ケアを必要とする児童と家族、支援者が暮らしやすい社会をつくる」ために様々な活動をしているNPO法人です。

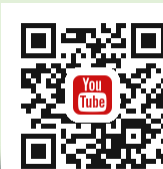
医療的ケア児を育てる家族に対して、育児や生活の参考書となるようなメディア運営と医療的ケア家族同士が交流できるコミュニティを提供し続けることで、不安や情報不足、孤独感を解消する、という理念で運営されています。

ホームページには医療的ケアに関する専門用語の解説・業界ニュース・子どもと親のライフイベント(退院・就労など)に関する情報・ママへのインタビュー記事など、医療的ケアを行う上で役に立つ情報が配信されています。また、医療的ケア児とその家族の生活をYouTubeでも紹介しています。

ぜひ一度のぞいてみてください。

メディア:<https://unleash.or.jp/>

YouTube:[https://www.youtube.com/channel/UCc-QI\\_254BagBkm3KoaqUnw?view\\_as=subscriber](https://www.youtube.com/channel/UCc-QI_254BagBkm3KoaqUnw?view_as=subscriber)



暮らしに役立つ福祉用語のお話

No.2 「サービス等利用計画」と「個別支援計画」の関係

第2回目の福祉用語のお話しは、指定特定相談支援事業所が作成する「サービス等利用計画」とサービス提供事業所の作成する「個別支援計画」の関係についてです。

障害者総合支援法(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律)のサービスを受給するためには、指定特定相談支援事業所がサービス等利用計画案を作成し、区へ提出する必要があります。自分で利用計画案を作成するセルフプランの提出も可能です。

サービス等利用計画は、これからどんな生活をしたいのかという夢に向かって、その実現のために、どのサービスを、どこの事業所で、どれくらい使うのかを決めるものです。プラモデルで言えば、完成図というところでしょうか。

個別支援計画は、それぞれの事業所が、どんな生活がしたいのかという夢に向かって、具体的にサービスの内容を決めていくものです。その時に大切なことは、サービス等利用計画の目指しているところと同じ方向でないといけないということです。

サービス事業所が勝手な個別支援計画を作成し、それに基づいてサービスを開始したら、ガンダムのプラモデルをみんなで作成させようとしているのに、飛行機の部品や車の部品を作っているようなものです。

どちらの計画も、本人を中心にして、本人の想いに応えるために作成することは言うまでもありません。

ベルデさかい 事務次長 森 繁樹





# ■地域支援センター 事業実績と予告■

## 堺ミーティング

	日時	テーマ
第1回	平成27年 7月20日	施設紹介:「ベルデさかいの役割とこれから」 児玉センター長、ベルデ各部署
第2回	9月11日	講義(岸本PT):いのちの入れ物「からだ」への支援
第3回	11月27日	講義(松本OT):豊かな暮らしの活動支援
第4回	平成28年 1月8日	講義(松浦ST):楽しい食事時間の支援
第5回	3月11日	講義(石崎Ns):いのちを紡ぐ医療的ケアの支援
第6回	5月13日	施設・事業紹介 大阪南リハビリ訪問看護ステーション、障友会グループホーム「あいあい」
第7回	7月8日	施設・事業紹介 アシストデイ・アシストナイト(ナイトケア)、えーゆーハウス
第8回	9月9日	施設・事業紹介 ピュアあすなろ、大阪府立堺支援学校
第9回	11月11日	施設・事業紹介 堺市基幹相談支援センター、堺市障害者更生相談所
第10回	平成29年 1月13日	講演 橋本 洋之 医師 (堺市立重症心身障害者(児)支援センターベルデさかい 診療部長) 「障害女性のライフステージと健康」
第11回	3月10日	施設・事業紹介 じょぶライフだいせん、平成29年度の堺ミーティング計画報告
第12回	5月12日	講演:位田 忍 医師 (大阪母子医療センター副院長・患者支援センター長) 「在宅医療の地域ケアシステム構築での3次病院及び専門医療の役割」
第13回	9月27日	講演:南條 浩輝 医師 (かがやきクリニック院長) 「ちょっとだけがんばればできる小児在宅医療」
第14回	11月17日	講演:長井 美樹 医師 (堺市総合医療センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長) 「重症心身障害児者や長期臥床患者に適した新たな誤嚥防止術のご紹介」 紹介:堺市総合医療センター (医療連携室 柳川 富久美 看護師長)「医療・福祉・介護連携」
第15回	平成30年 1月12日	講演:藤井 健一 医師 (耳原総合病院小児科) 「重症心身障害児者とその家族に教えられた事 これまでの経験とこれからの展望」
第16回	平成30年 3月9日	講演:伊藤 隆夫 PT (全国訪問リハビリテーション協会相談役・前会長) 「地域包括ケアと在宅リハビリテーションーこれからの地域に求められるリハ職の役割を考えるー」
第17回	9月14日	テーマ:「自立支援について考える-重心自立生活者当事者報告会-」 ※知的に高い重度障害者の自立生活実現への当事者報告会 当事者2名参加
第18回	平成31年 3月1日	テーマ:「自立支援について考える②」 堺区障害者基幹相談支援センター 菊池様からの事例紹介とディスカッション
第19回	2019年6月20日	講演:竹本 潔 医師 (大阪発達総合療育センター 副院長 小児科) 「大規模災害時の医療的ケアが必要な方々への対応と対策」
第20回	2019年10月24日 (予告)	講演:森 繁樹 氏 (ベルデさかい 事務次長) 「個別支援計画と福祉制度入門」

## 電動車いすフェスタ

第1回	平成28年12月3日	第2回	平成30年3月11日	第3回	平成30年12月1日
第4回	2019年11月30日(予定)				

## 介護講習会(ゆびきたす倶楽部)

第1回	平成28年6月19日	第2回	平成29年8月20日	第3回	平成30年6月10日
第4回	2019年 日時未定				

# ■地域支援センター 事業実績と予告■

## 器具作成講習会(ベルデ製作所)

第1回	平成28年10月16日	第2回	平成30年1月28日	第3回	平成31年3月16日
第4回	2020年 日時未定				

## 症例検討会(くおりあ倶楽部)

次回の開催(第16回)は、8月23日(金)の予定です。詳細が決まり次第、ホームページやメールなどでご案内します。

## 健康体操教室

今年度は4回開催予定です。第1回目は終了しました。次回以降は 9月、12月、3月の予定です。

## その他の講習会

平成29年 10月22日	大阪府重症心身障がい児者地域ケアシステム整備事業 障がい福祉サービス等体験会・在宅重症心身障がい児者支援者育成研修
--------------	--

## ベルデ地域支援センターの派遣事業について

- 地域の生活介護事業所での医療や介護、お薬、リハビリなどに関するご相談や指導
- 職員研修などの講義や実技指導
- 職員の腰痛予防などの体操指導
- 婦人科に関すること
- その他

電話・FAX、ホームページ、メールなどで、どうぞお気軽にご連絡・ご相談ください  
ご依頼・ご相談をいただきましたら、日程のご相談をしてなるべく早期に対応します。

ベルデさかいの  
ホームページは  
こちら



祝  
世界遺産

## お問い合わせ・ご連絡先

堺市立重症心身障害者(児)支援センター内  
ベルデ地域支援センター

〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4-3-1  
堺市立健康福祉プラザ2階

電話 072-275-8510 FAX 072-243-5900

[yuki.zuisen@misasakai.or.jp](mailto:yuki.zuisen@misasakai.or.jp)  
(瑞泉 祐樹:ずいせん ゆうき)



[akito.ozawa@misasakai.or.jp](mailto:akito.ozawa@misasakai.or.jp)  
(小澤 明人:おざわ あきと)

